



飛 翔

令和8年2月27日
板橋区立志村第一中学校
校長 岡部 誠



☆ 根を深め、光を待つ君たちへ ☆

立春を過ぎ、暦の上では春を迎えています、校庭を吹き抜ける風にはまだまだ冷たさが残っています。しかし、早朝の町中を歩けば木々の枝先が心なしかふっくらと膨らみ、日差しの中にわずかな「春の光」を感じるようになりました。2月末。この時期は、本校にとって1年で最も心が揺れ動き、そして最も美しい時間が流れる季節だと思います。

冬の寒さに耐える植物たちは、一見すると眠っているように見えます。しかし、地中では春に大輪の花を咲かせるため、必死に根を広げ養分を蓄えています。私は今、学校生活での皆さんの姿を、その「目に見えない根を張る姿」に重ねています。

特に9年生の皆さん。受験という大きな荒波の中にあり、不安やプレッシャーに押しつぶされそうになる日もあったことでしょう。思うような結果が出ず、自分を信じられなくなる瞬間もあったかもしれません。しかし、忘れないでください。この冬、君たちが自らを奮い立たせてペンを握り、自分自身と向き合ってきた時間は無駄ではありません。苦しい時に逃げ出さず、一步を踏み出し続けたという事実は、君たちの人生という大樹を支える「根」となって、一生を支え続けます。この学び舎で3年間積み上げてきた「互いに支え合う姿勢」、「物事に取り組む粘り強さ」、そして「愚直に前に進もうとする健気さ」を、私は心から誇りに思います。

7・8年生の皆さん。これまで9年生の背中を見て、何を感じることができましたか。

学校行事や部活動、委員会活動。これまで当たり前のように自分たちを導いてくれた先輩たちが、もうすぐこの校舎を去ろうとしています。

竹という植物は、節（ふし）があるからこそ、あんなにも高く、そして強風でも折れることなくしなやかに伸びることができます。学校生活における「進級」や「卒業」という節目も同じです。友達と意見がぶつかったこと、部活動で涙を流したこと、合唱コンクールに向けて調和を図ろうとしていること、それらすべてが、君たちという竹の「節目」を形作っています。3月は、この1年の自分の歩みを振り返り、「節」を固める時期です。先輩たちの思いを受け継ぎ、次は自分たちがこの志一中を創っていくのだという自覚を、静かに、そして熱く燃やしてほしいと願っています。

あと数週間もすれば、別れの日がやってきます。9年生は、この学び舎で過ごす一日一日が宝物となる時間を過ごしてください。7・8年生は、そんな先輩たちの姿を見つつ、感謝の気持ちを行動や態度で伝えてくれることを期待しています。



● 8年生・校外学習

2月10日(火)、8年生が鎌倉にて校外学習を行いました。実行委員が中心となって設定したスローガンは一蓮托生(いちれんたくしょう)に由来した造語「一連託青」。1つに連なる(一連)青学年(青)がチームとなって、次につなげる(託す)ことを目標としました。

当日は天候にも恵まれ、互いに声を掛け合いながら班単位で行動しました。今回の成果と課題は、9年生での修学旅行に引き継がれる有意義な活動となりました。



● 工事を進めています

2月13(金)、令和8年度入学予定生徒の保護者対象説明会を行いました。令和8年度の入学生より35人で1学級(現7・8年生は卒業まで40人で1学級の現行制度)となります。211名以上の入学生の場合は7クラス編制となるため、4階の多目的室をホームルーム仕様に工事を進めています。



● 合唱コンクールに向けて(3月7日(土))

都立一般入試、学年末考査を終えて、いよいよ合唱コンクールに向けた準備期間に入りました。当日は学年合唱を筆頭に、審査対象の自由曲、吹奏楽部の演奏と続きます。

9時40分開場
7年生・・・10時00分～
8年生・・・11時15分～
(給食)
9年生・・・13時30分～
※開演時間が早まることはありません。
※鑑賞エリアに限りがあるため、保護者はお子様の学年のみ鑑賞するようご協力をお願いします。

● 女子バレーボール部

第78回区民スポーツ大会 第2位

板橋区立中学校バレーボール部7年生大会 第2位

● 書道部 板橋区書き初め大会 in 大東文化大学 2026

大東文化大学学長賞 (8-2)

※当日参加(300名ほど)の中で最上位の賞です

